



## 10月の園だより

令和4年10月3日  
鶴来第一幼稚園  
園長 大角 智恵美

今日は七十二候の「水始涸（みずはじめてかる）」だそうで、湿気の多かった夏が終わり、みずみずしく茂っていた草木も潤いを失い、乾いた空気に冬の気配を感じる、という候となるそうです。そう聞くとすっかり晩秋の光景が思い浮かびますが、まだ汗ばむ日も続いています。土曜日は暑い中、運動会にご参加くださりありがとうございました。真っ青に晴れた秋空にパラグライダーも舞い、空からも応援が届くようでした。なのはな・年少組さんは初めての大きな舞台でしたが、堂々と走ったり踊ったりすることができました。どのプログラムを見てもかわいい1部に対し年中・年長さんの2部では、友達と競ったり協力し合ったりする姿にたくましさも感じました。ついつい応援にも力が入り、それぞれの学年の成長を感じプログラムが終わるごとに胸が熱くなりました。今月は親子レクリエーションやバザー、収穫祭も予定されています。普段の遊びの中で、また行事を通して、たっぷり秋の自然に触れたり、実りの喜びを感じ味わったりしたいと思います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



## 10月のねらい

どこへ行っても金木犀の香りでいっぱいです。年少・年中さんはほうらい祭りの造り物を見に、水戸町までお散歩に出かけました。いろいろな行事を経験したり、地域の伝統行事や秋の自然に触れたりして、子どもたちの遊びがより豊かになっていくのではないかと楽しみです。

- つくし** ○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを少しずつ自分でしようとする。  
○秋の自然物に、興味や関心をもって関わろうとする。  
○絵本に興味を持ち、表現する楽しさを感じる。
- なのはな** ○生活の流れがわかり、簡単な身の回りのことを自らしようとする。  
○秋を感じ、自然物に興味をもつ。  
○保育者や友達に言葉を使ってやり取りを楽しむ。
- 年少** ○自分の思いや考えたことを伝えながら、気の合う友達と遊ぶ楽しさを味わう。  
○保育者や友達と、戸外で十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。  
○秋の実りや身近な自然物に触れ、興味をもつ。
- 年中** ○友達と体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。  
○自分の思いを言葉や動きにして伝えたり、相手の思いに気づいたりしながらかわりを楽しむ。  
○身近な自然に触れたり遊びに取り入れたりして楽しむ。
- 年長** ○季節の移り変わりに関心をもちながら、自分なりに見通しをもち、生活や遊びを進めていこうとする。  
○友達と思いや考えを出し合いながら力を合わせ、自分たちで生活や遊びを進めていく楽しさを味わう。  
○自分なりの目当てをもって、意欲的に遊びに取り組む中で、自分の力を発揮する楽しさを味わう。



○衣替えについて  
衣替えの時期になりました。制服の着用をお願いします。しばらくは気温が上がる日もあると思いますので、その日の気温に合わせた服装をさせてあげてください。

○施設利用申込書の提出について  
施設利用申込書の提出期間は市町によって異なります。期間内に忘れずに提出をお願いします。

○運動会のお土産について  
【年中】縄跳びは園でも練習しますので、名前を付けて毎日持たせてください。おうちでも練習してみてくださいね。  
【年長】虫眼鏡は園で使用します。名前を書いて5日（水）までに持たせてください。  
水栽培ポットは好きな球根を買って、お家で育ててみてくださいね！  
※なのはな、年少組はお家で遊んでください。

○収穫祭について  
26日（水）は、年長さんが育てたお米をかまどで炊いておにぎりを作ったり、畑のサツマイモで焼き芋をしたり、めった汁を作ったりして食べます。給食さんにお手伝いしてもらって調理する予定です。秋空の下、みんなで園庭で食べられたらいいな~と思っています。  
\*めった汁に入れる材料の提供をお願いします。おうちで育てたお野菜があれば、玄関にかごを用意しておきますので、24~25日に入れておいてください。  
【持ち物】空のお弁当箱、お椀、箸やスプーン



○バザーのリサイクル品、秋の自然物が足りません！  
先日バザーのご案内でもお知らせしましたが、どんぐりやまつぼっくり、落ち葉や花、小枝などを集めています。玄関のかごに入れていただいておりますが、まだまだ足りません！遊びに行った公園やおうちの周りで見つけたら、ぜひ園へ持ってきてください！リサイクル品も1家庭2つ以上必ずお願いいたします。



《噛んで食べる習慣を付けよう》  
「噛む」習慣をつけると・・・  
◇栄養を吸収できる よく噛むことで唾液が多く分泌され、食べ物の消火や栄養の吸収を助け、胃腸への負担を軽くします。また、唾液には口腔の中を清潔に保つ働きがあり、虫歯の予防にもつながります。  
◇窒息事故防止 自分の一口量を知り、よく噛むことで、食べ物による窒息を予防します。特に飲み込む力も弱い乳児期は、よく噛んで食べ物を細かく砕きのどに詰まりにくくすることが大切です。  
◇食べることが楽しくなる 噛むことで、食べ物の触感や味を十分に味わうことができ、食べることが楽しくなります。

実りの秋、食欲の秋！根菜類やリンゴなど、噛み応えのある食べ物がこれから出回ります。美味しく食べながら、噛む習慣をつけていきたいですね。